

「福山市の福祉・介護職PR『福男』『福女』に13人」

当法人の職員が福女に選ばれました。委嘱式での写真が掲載されています。



福山市の福祉・介護職PR「福男」「福女」に13人

福山市福祉・介護人材確保等総合支援協議会は29日、福祉・介護職の広報活動などを担う「福男」「福女」の計13人を決めた。福祉・介護職のイメージアップが狙いで、初めての取り組み。

13人は市内の老人ホームや障害者支援施設で働く、20～60代の施設管理者や介護福祉士たち。19人の応募の中から選ばれた。この日は市内で委嘱式があった。委嘱期間は2年。

委嘱状を受け取る「福女」のメンバー



多治米町のグループホームに勤める小平高浩さん(23)は「利用者からのありがたい言葉がやりがい。仕事の魅力を伝えたい」と意気込んでいた。

同協議会によると、福祉や介護に関わる職種は「仕事が大変」などの印象があり、団塊の世代が75歳以上となる

2025年には、深刻な人材不足が見込まれている。

福男・福女は8月の就職面談会でデビュー1。イベントなどで仕事をPRする。

(福田彩乃)